

Osaka city Education Network

OEN

子どもたち・学校・先生のための

「オーエン団」



活用事例集

令和7年7月

	実施日	実施学校園	連携相手	カテゴリ	テーマ
	7月2日	東三国小学校	東京学芸大学 教育学部 准教授 鈴木 直樹	教職員研修	学校体育における効果的なICTの利活用
	7月2日	港中学校	平安伸銅工業株式会社	出前授業	おうちの防災について考えてみよう
	7月3日	鶴橋小学校ほか	奈良学園大学 人間教育学部 教授 松井 典夫	教職員研修	学校と子どもの安全
	7月9日	平野北中学校	5の企業・行政機関	出前授業	キャリア教育職業講話会
	7月18日	大淀中学校	大阪総合保育大学 児童保育学部 教授 高田 昭夫	教職員研修	特別支援教育・インクルーシブ教育・発達障害・ 気になる子ども・保護者支援等についての研修

◆項目をクリックすると、学校園で実施した活用事例をご覧いただけます

実施日

実施学校園

連携相手

カテゴリ

テーマ



7月22日

大桐小学校

関西学院大学 教職教育研究センター
非常勤講師 大石 浩之

教職員研修

学級活動の実践と指導法(学級経営・特別活動)



7月22日

西島小学校

大阪大谷大学 教育学部
専任講師 後藤 壮史

教職員研修

「子ども主体×ICT活用」の授業を目指す教師の
授業力量形成

7月23日

成育小学校

神戸松蔭大学 教育学部
教授 秋山麗子

教職員研修

特別活動授業の指導に関する指導助言



7月24日

弘済小学校

大阪大谷大学 教育学部 教育学科
専任講師 狩谷 潤也

教職員研修

図画工作科の魅力ある授業作り



7月25日

東三國小学校

神戸松蔭大学 教育学部
教授 秋山麗子

教職員研修

特別活動授業の指導に関する指導助言

◆項目をクリックすると、学校園で実施した活用事例をご覧いただけます

実施日

実施学校園

連携相手

カテゴリ

テーマ



7月25日

野田小学校

大阪大谷大学 教育学部 教育学科
専任講師 狩谷 潤也

教職員研修

図画工作科の魅力ある授業作り

◆項目をクリックすると、学校園で実施した活用事例をご覧ください

取組実施日

令和7年7月2日（水）

実施学校園

東三国小学校

連携相手

東京学芸大学 教育学部 准教授 鈴木 直樹

取組内容

多様な見方で運動に関わることで豊かなスポーツライフに繋がるという考えのもと、授業研究と討議会、講演会を行った。授業は、個別最適な学びと協働的な学びを通して、児童が自ら試行錯誤し課題を解決するような構成で行った。講演会では、「子どもの未来に必要な体育とは」をテーマにお話しいただいた。

学校園の感想

講演会では、普段当たり前に行っていた運動や活動が間違っていたことや、児童に悪影響を与えることもあることがわかり、知識をアップデートしていかないといけないと強く感じた。また、世界の研究や科学的根拠をもとにお話しいただいたので、納得する内容ばかりだった。今回の授業研究や講演会で教えていただいたことをもとに、今後も研究を深め、より良い授業をめざして研鑽していく。



おうちの防災について考えてみよう（出前授業）

取組実施日 令和7年7月2日（水）

実施学校園 港中学校

連携相手 平安伸銅工業株式会社

取組内容 お家でできる防災について、家具を固定することの大切さや生徒自身の部屋や家を想像して、危険な場所・要因を考えた。

学校園の感想 生徒にとって身近な話で、想像しやすい内容だった。また、南海トラフとも関連づけられて深い学びになった。一方的に話を聞くだけではなくて、生徒自身の家や部屋を想像しながら学べる内容だったので、とても有意義な時間を過ごすことができた。

連携相手の感想 事前の打合せもあり、生徒や学校のニーズを把握して授業に臨むことができた。質問や声かけをするなど、対話的な授業に努めた。生徒の皆さんもハキハキと対応してくれるなど協力的で、「おうちの防災について考えてみよう」というテーマに沿った授業ができた。



取組実施日

令和7年7月3日（木）

実施学校園

鶴橋小学校ほか

連携相手

奈良学園大学 人間教育学部 教授 松井 典夫

取組内容

管理職として求められる危機対応力と安全管理の視点について、大阪教育大学附属池田小学校事件等をもとに具体的にご教示いただいた。教職員の危機管理意識が低下しないための方策や、危機対応マニュアル策定のポイント、各訓練のあり方について情報を提供していただいた。

学校園の感想

20年以上前の事件であるのに、昨日の出来事のように緊迫感をもってその内容を紹介していただいた。事件を未然に防ぐために、何ができるかを改めて考える契機となり、たいへん有意義な研修となった。



キャリア教育職業講話会（出前授業）

取組実施日 令和7年7月9日（水）

実施学校園 平野北中学校

連携相手 大阪海上保安監部/大阪有機化学工業株式会社/オリックス野球クラブ株式会社
三井住友信託銀行/雪印メグミルク株式会社

取組内容 将来の進路選択や就労観を育成するキャリア教育の一環として、生徒が「働くこと」の意義や価値を理解し、自分の将来設計を考えるために、職業講話の取り組みを行った。生徒が様々な職業の方々から、仕事内容ややりがい、就業の経緯などを直接聞かせていただくことで、将来の夢を抱いたり、自分に合った進路を見つけたりするきっかけとなった。

学校園の感想 職業講話では仕事のやりがい、海上保安、ものづくり、野球とスポーツビジネス、金銭管理、酪農生産について詳しく説明され、生徒は多様な職業観や将来設計への理解を深めることができた。各講話では実体験やワークショップを通じ、具体的な業務内容や社会への貢献を楽しみながら学ぶことができた。

連携相手の感想 様々な職種の方から、生のお話を聞く機会があるということは、生徒の皆さんにとって非常に素晴らしいことだと改めて感じた。仕事として当社を選ぶ経緯を話す等、生徒の皆さんにより身近に感じてもらえた。真面目に話を聞いていただき、中学生ならではの質問も多数いただくことができた。



取組実施日 令和7年7月18日（金）

実施学校園 大淀中学校

連携相手 大阪総合保育大学 児童保育学部 教授 高田 昭夫

取組内容 「子どものつまずきを読み解く知識と洞察力」、「気になる生徒がいたら～グレーゾーン（境界知能）の生徒のためのチェック項目と初期対応～」の2点を中心に講義いただいた。

学校園の感想 子どもが表出している言動をそのまま受け止めるのではなく、背景に何があるのかを探ることが重要であることを再認識した。また、様々なケースについて、ご説明いただき、対応の仕方について共有することができた。



取組実施日

令和7年7月22日（火）

実施学校園

大桐小学校

連携相手

関西学院大学 教職教育研究センター 非常勤講師 大石 浩之

取組内容

安定した学級経営をするためには、学級活動を充実させることが重要だと詳しく教えていただいた。学級活動では、話す力・考える力・発表する力・仲間とともに協働する力が培われるということ、実体験を交えての講義で分かりやすかった。

学校園の感想

学級活動の進め方を丁寧に教えていただいた。担任なら、2学期から早速やってみたいと思わせるような内容だった。また、パワーポイントには写真が多く、イメージしやすかったのもよかった。実践によって、子ども一人一人を大切にしたい学級経営ができそうだと感じた。



取組実施日

令和7年7月22日（火）

実施学校園

西島小学校

連携相手

大阪大谷大学 教育学部 専任講師 後藤 壮史

取組内容

若手教員がキャリアを積み、中堅教員として仕事内容が増えたり、変化したりする。その中でどのようなことから不安や悩みを抱きやすくつまずき易いのかを講師が伝え、グループになって日常の仕事を振り返り伝え合った。そしてその不安や悩みを解消するとともに、子ども主体の教育活動にしていくことができるのかをICTを活用してできることについてグループで考えた。そして2学期からチャレンジしていけることをそれぞれの教員が考え伝え合った。

学校園の感想

客観的にそれぞれの仕事内容や取り組み方を振り返ることで、それぞれが不安に思ったり悩んだりしていたことの原因理由を考えることができた。そしてその原因をどのようにして軽減していけるのかを、他の教員と相談し合いながら考えることができた。教員が話し合い相談し合いながら教育活動に取り組み、その内容を子ども主体の教育活動に取り組みしていければと思う。また、子どもたちも教職員も互いの学びを共有できるようデータで残し、いつでもみることができるようになることが重要だと思った。



特別活動授業の指導に関する指導助言（教職員研修）

取組実施日 令和7年7月23日（水）

実施学校園 成育小学校

連携相手 神戸松蔭大学 教育学部 教授 秋山麗子

取組内容 特別活動における話し合い活動のあり方について講演していただいた。学級活動は、学級や学校における生活をより豊かにするための課題について、児童が主体的に解決方法を話し合い、合意形成し、決めたことを実践していく活動である。そこから集団が発展するとともに、より良い自分を追及する姿勢も育まれる。といった内容をご教示いただいた。

学校園の感想 講師の先生の現場での経験を踏まえた話だったので、大変わかりやすく、今後の実践に活かせる研修となった。学級会で話し合うことによって、子どもが目的意識を明確にして、様々な取り組みや活動を主体的に進められると感じた。学級活動は、平和で民主的な国や集団の形成者としての資質・能力を高めるうえで重要な学習であるということを全教員が学べてよかった。



取組実施日 令和7年7月24日（木）

実施学校園 弘済小学校

連携相手 大阪大谷大学 教育学部 教育学科 専任講師 狩谷 潤也

取組内容 以下の点についてご教示いただき、その後質疑応答となった。

1. 図画工作科の評価（現在の評価の仕方と次期学習指導要領の評価の方針について）
2. 水彩絵の具の指導（実技）
3. 紙粘土の指導について（実技）

学校園の感想 今年度から図画工作科を研究教科としている本校の教員にとって、非常にニーズの高い研修となった。

特に実技においては、本校児童の特性を考慮し、意外性の中にも達成感を高めるような様々な題材を提供していただいた。課題としては、実技が主な活動であったため、「評価」についての話が15分程度と限られてしまった。講師先生におかれても、十分伝えられなかったのではないかと思います。



特別活動授業の指導に関する指導助言（教職員研修）

取組実施日

令和7年7月25日（金）

実施学校園

東三国小学校

連携相手

神戸松蔭大学 教育学部 教授 秋山麗子

取組内容

教育研究会児童会活動部の研究委員を対象に、特別活動についての基本的な内容や、児童会活動の意義や進め方について、グループディスカッションを交えて、ご講演いただいた。

学校園の感想

経験年数の浅い教員は基本的な内容を知ることができ、ある程度経験を重ねている教員は、指導要領に立ち返り、理論的な意味や意義について活動を見直すことができた。今後の研究につなげることができる内容だった。途中で、グループディスカッションがあり、周囲の人が考えていることがわかり、安心できたという感想もあった。



図画工作科の魅力ある授業作り（教職員研修）

取組実施日 令和7年7月25日（金）

実施学校園 野田小学校

連携相手 大阪大谷大学 教育学部 教育学科 専任講師 狩谷 潤也

取組内容 パスや絵の具の効果的な使い方、紙粘土・液体粘土の扱いを実技を交えて学んだ。
図工科の授業づくりや評価についての具体的な提案もあり、実践的な内容であった。

学校園の感想 実際に手を動かすことで素材の面白さや工夫の幅を実感できた。自分自身が楽しんで取り組めたことで、子どもたちへの指導にも自信が持てると感じた。楽しく、有意義な研修であった。

